

【ITUC プレスニュース】

<https://www.ituc-csi.org/g20-rome-summit?lang=en>

G20 ローマ・サミット：ワクチンへのアクセス、気候変動に配慮した雇用への投資、社会的保護が世界の持続的な回復の鍵となる

世界的な大流行、失業、社会的保護の欠如、債務負担の増加、気候変動への不作為など、世界が危機の収束に直面している中、G20 のリーダーたちは、毎年恒例のサミットをローマで開催している。

G20 に対する Labour 20 声明は、以下を基本とした正当な回復を約束するために、リーダーたちに政策提言を行っている。

- 雇用への投資 - 気候変動に配慮した雇用をすべての人に提供し、公正な移行を行う。
- サプライチェーンとあらゆる形態の労働における権利。
- 女性の平等な参加、そして
- 包摂的な経済

COVID-19 のパンデミックは、世界経済の回復を妨げ続けています。多くの発展途上国では、ワクチン接種を受けている人は人口の 2% 未満。発展途上国は、2025 年までに 12 兆ドルの貧困に陥る。ワクチンの普及が進まない状況が続くと、さらに 1.5 兆ドルの収入が消えてしまう。

「パンデミックは、世界経済の断層、グローバルなサプライチェーンの脆弱性、規制緩和や民営化を押し進めてきた数十年にわたる政策がもたらした永続的なダメージを露呈した。G20 政府は、TRIPS 放棄を支持し、COVAX への財政支援を強化することで、ワクチン、治療、検査の普遍的なアクセスと公平な配布を確保し、SARS-CoV-2 を職業上の危険、COVID-19 を職業上の病気として認識しなければなりません」と ITUC 書記長のシャラン・バロウは述べた。

雇用の危機

危機が始まって以来、世界では 2 億 5,500 万人分のフルタイムの雇用が失われ、さらに 1 億 3,000 万人分の雇用が危機にさらされている。G20 の 10 カ国で行われた調査では、54% の人々が、自国の政府は労働者のために雇用を創出するためにもっと努力すべきだと考えている。

「私たちは、低賃金で不安定な仕事、育児や高齢者介護の不足、そして気候変動に対応しなければならない多くの仕事など、世界的な雇用危機に直面しています。各国政

府は、2030年までに必要な5億7,500万件の気候変動に配慮した仕事を実現するために、スキルや産業への投資を含む雇用計画を策定し、行動を約束することを示す必要がある。世界のGDPの61%、世界人口の48%を占める35カ国を対象としたITUCの分析によると、雇用創出のための具体的な計画を持っているのはわずか8カ国である。ITUCが分析した国の77%は、気候に配慮した雇用を創出するための持続可能なインフラやケア経済への投資を怠っている」。とシャラン・バロウは述べた。

また、OECD労働組合諮問委員会(TUAC)の事務局長であるピエール・ハバード氏は、次のように述べている。「G20は、質の高い雇用を伴う復興と公平な成長を実現するために、協調行動を強化しなければならない。気候変動、デジタル化、新しいグローバルな税のアジェンダなど、数年間にわたるG20の成果物は束ねられるべきであり、具体的な解決策につながるものでなければならない。G20は、競争とデータガバナンスに真剣に取り組み、公的予算や中小の競争相手、消費者や労働者が苦しむデジタル市場の集中に歯止めをかけなければならない。また、G20は、より良い資金と十分な人員を備えた公共部門を支持する明確な声明を出さなければならない。パンデミックを肩代わりし、今もそうである公共部門は、はるかに多くの支援を必要としている。」

L20は、G20のリーダーに対し、以下を約束するよう求めている。

- COVID-19 ワクチンの普遍的な入手
- 気候変動に配慮した雇用と公正な移行に投資する、新しい社会契約に基づく回復計画。
- 労働安全衛生を含む、すべての労働者のための権利の床。
- 質の高い公共サービスへの投資
- 普遍的な社会保護とグローバル社会的保護基金の設立
- 女性の平等な参加
- 社会的対話と公正な開発モデルによって形成される、包摂的な経済。

今回のG20サミットは、グラスゴーで開催される国連気候変動会議(COP26)の前夜に行われる。

「G20のリーダーたちは、1,000億ドルの気候変動資金を提供するという既存の公約を実現し、公正な移行によって気候変動に対する野心を高めることで、世界の気温上昇を1.5度に抑える道筋をつける国連気候変動会議の基調を決めることができる。G20がリーダーシップを発揮できなければ、人々も地球も危険にさらされることになる」。とシャラン・バロウは述べた。